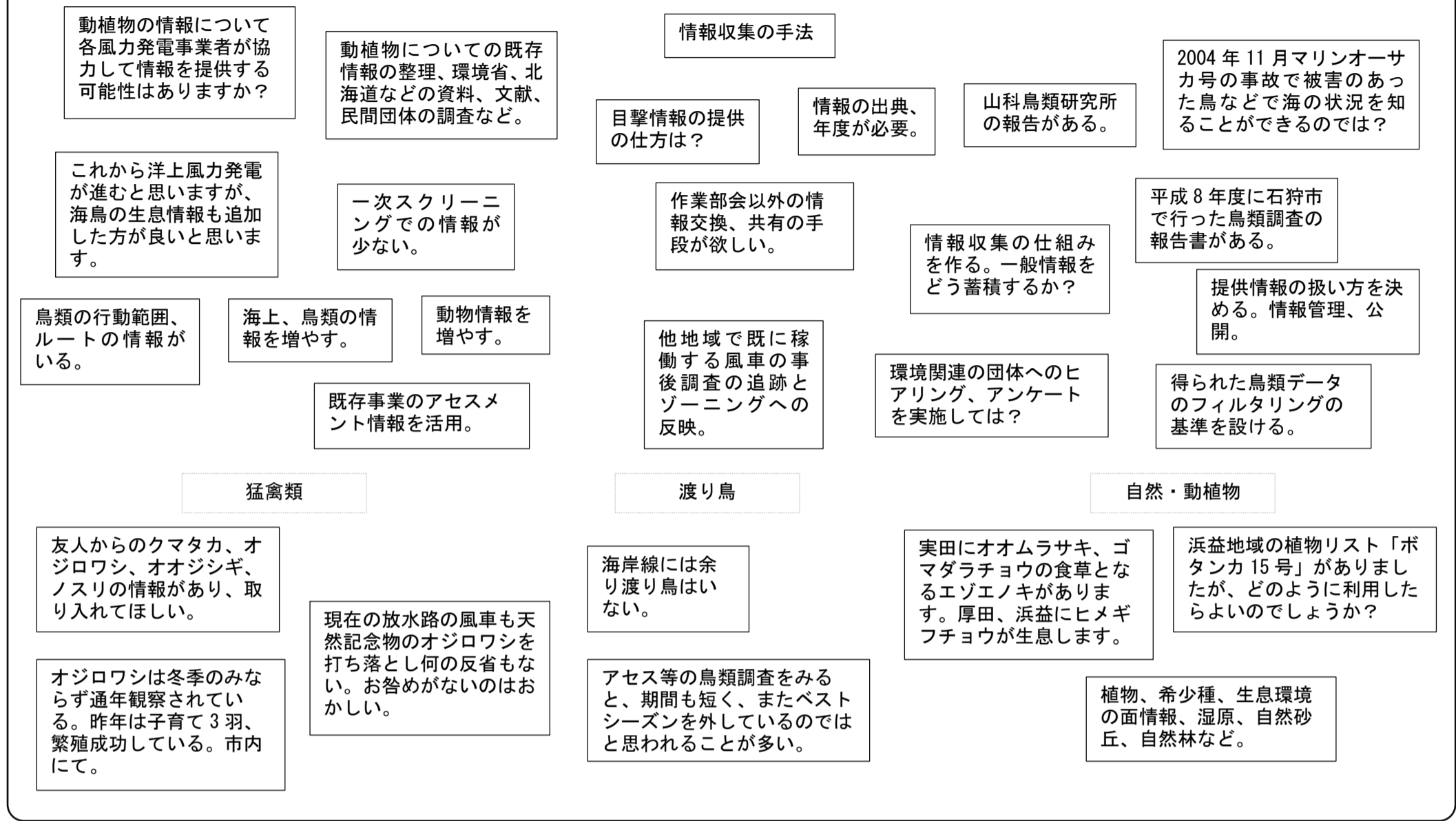
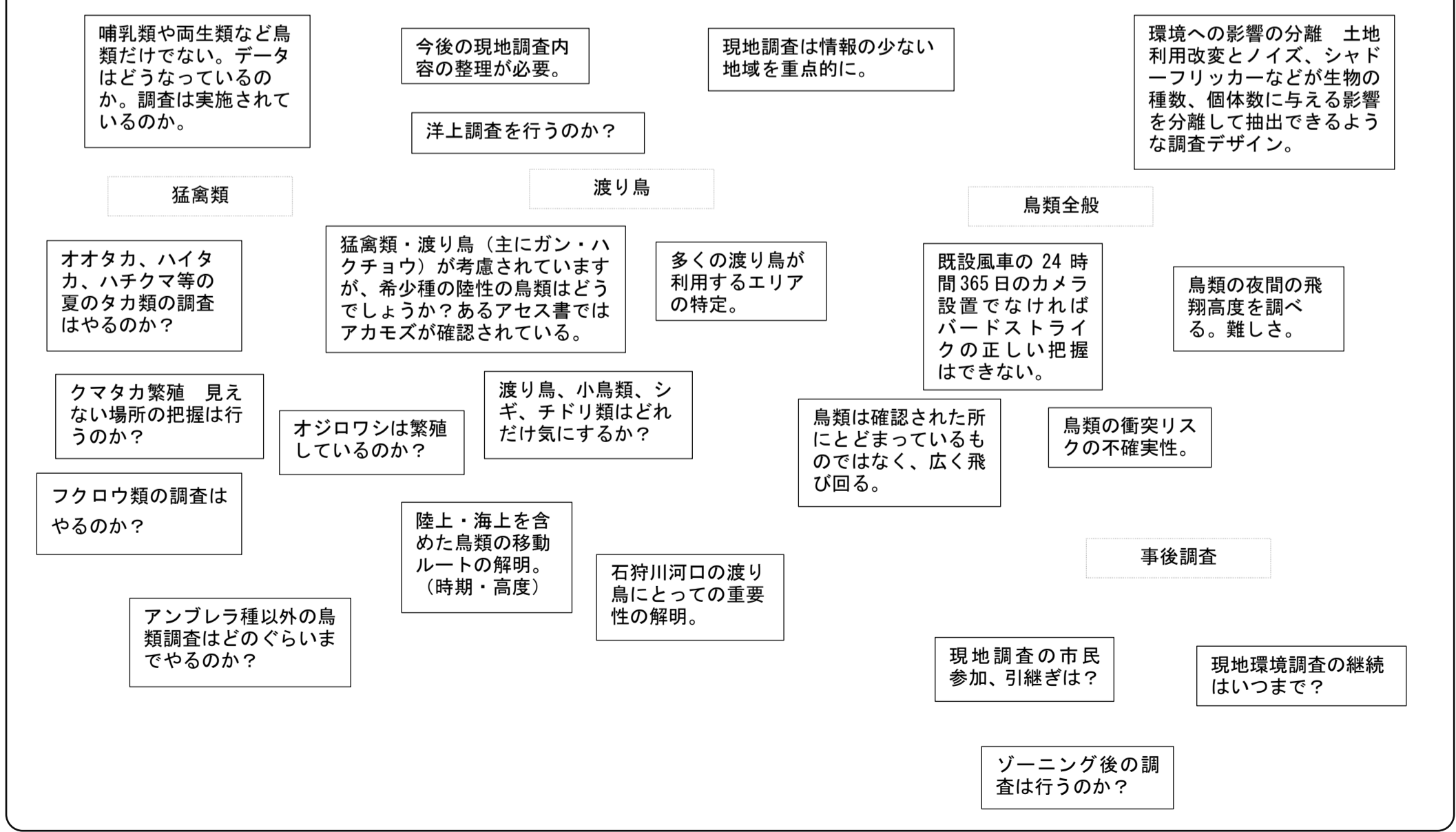


部会名	動植物の検討に関する作業部会（第2回）	日付	2018（H30）年2月22日
-----	---------------------	----	-----------------

情報の収集



追加現地調査



風車の影響

マイナス

プラス

風車のシャドウフリッカー、音は動植物にとって脅威である。

カラスが低周波音で市街地に降り立つのではないかと。

風力発電は風を弱める効果がある。樹木を育てるにはよい環境。

暮らしとの離隔、大型風車からの振動、低周波音が心配、500m などとは信じられないくらい。

動植物の影響はないと思う。日常の風害の方が大きい。

樹木の成長を促すことにより、魚介類の生育に効果がある。

大型風車の風や振動は漁業、森林に徐々に影響がでてくる。

風力発電を設置した場合、風切り音が家畜に影響あるのでは。

自然環境に対する負荷は0ではないと思われるが、人間が生きていく上ではあらゆる面で自然に対する負荷が課せられていると思う。風力発電による負荷はどの程度なのか。許される範囲ではないのか。

住宅、働く場などが近く、健康被害が心配である。コウモリの肺うっ血、人間と同じ。

その他

風力発電のある現地を是非みなさんに見てほしい。

石狩市内の既設風車、計画中風車に対する審議会の資料を参考資料としてゾーニング会員全員に配布してほしい。

資料は当日でなく前もって送って欲しい。

「普通の種」という言葉は生物に対する差別であると思う。

ゾーニング

希少種、絶滅危惧種の繁殖が確認、予測されている場所以外は容認で、小鳥類を考慮するならばすべての場所が否。

石狩、厚田、浜益の自然、花が大好きで歩いている。自然、景観が壊されることを懸念している。

海外では洋上風発はイギリス、デンマーク、ドイツで 20 km、35 km、100 km などと陸地から離れている。

植物、希少種、生息環境の面情報、湿原、自然砂丘、自然林など。

動植物の生態系が変わると思われるので、適地エリアはないと考える。

風車に引き付けられる動物はいられるのか。

流域考慮、水生生物、ニホンザリガニ、ホタル、上流工事の影響が考慮できるように。

漁業は石狩にとってとても大切です。洋上風力との協調は無理だと思う。

ゾーニングすることによる導入可能エリアの拡大のリスクはないのでしょうか。

規制のかけ方に段階をもたせる 開発を一辺倒に規制するのではなく、「土地」利用改変を何%以下に抑える」「高さを何mまでにする」などの複数の基準で柔軟にゾーニングする。

保全すべき環境の創出 海浜から海岸林の移行帯が生物多様性保全上、重要な地域。